

首都圏における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
岩橋恒太 木南拓也、藤原孝大、荒木順（特定非営利活動法人 akta）
星野慎二、宮島謙介（特定非営利活動法人 SHIP）

研究要旨

東京地域では、総計 387 キットを配布した。コミュニティセンター akta での対面配布のみであった。今年度も予約サイトを活用し、密を避けて対面での説明を加え対応を行った。キット受け取り者のうち、実際に検体を郵送会社に郵送したものは 314 名であった。97.1%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 6 件、梅毒の陽性件数は 37 件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 260 名の属性については、29 歳以下が 28.8%を占めた。アンケート回答者 588 名においては、東京都の居住者が 63.1%であった。検体を送付した 260 名のうち、生涯初の検査経験割合は 15.0%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 58.5%であった。キットを受け取り、検体を送付したもののうち MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 46.9%を占めた。

神奈川地域では、総計 174 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 61 件、WEB での配布が 113 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

アンケートに回答したものは 181 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 130 名であった。98.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 24 件（既感染も含む）であった。アンケートに回答した者 204 名の属性については、40 歳未満が 77.4%を占めた。南関東地域の居住者が 53.4%、東京都の居住者が 33.2%であった。204 名のうち、これまでに検査を受けたことがないものの割合は 26.0%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 61.9%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 59.6%を占めた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。そこで、東京地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター akta での

対面で配布した。神奈川地域では、コミュニティセンター、貸し会議室等の会場を借りての対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布し、検査普及における有効性の評価を行う。

B. 研究方法

東京地域では、コミュニティセンター akta において、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイト <https://akta.jp/pt/> を開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter

で広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。来場者には、①検査キット、②確認検査を受けられる施設情報シート、③アルバ作成 梅毒検査の意味、④ふれいす東京 サポート情報カード、⑤梅毒啓発資材、⑥南新宿移転についての情報の6種類の資材を配布した。

なお、コロナ対策のため、予約制を採用し、ウェブの予約システムを導入して予約制。緊急事態宣言下のため、16-19時で配布した。2レーンで各人15分程度、1日24枠とした。

神奈川地域では、対面型配布とWEB配布2パターンで実施した。対面配布については、福祉保健活動拠点フクシア会場を借り、10月から11月末まで5日間の配布予定を立てた。またSHIPにじいろキャビンでも1日配布を行った。会場の予約時間は17~20時30分、または13:00-16:00、13:00-16:00 (SHIPにじいろキャビン)とした。予約制をとることとし、WEBまたは電話による事前予約とした。2週間前から10分間隔で時間指定予約できる仕組みとした。配布スタッフは、統括予約受付1名、配布担当としてもう2名、総計3名を配置することとした。WEB配布については、アプリ広告、Twitterでの広告を行った。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

東京地域では、すべてコミュニティセンターaktaにおいて対面で口頭説明付きで配布を行った。2021年9月25日から12月3日の49日間の配布を行った。総計387キットを配布した。基本的には月曜日に予約制で対面配布を行った。木曜日から日曜日は、予約なしでも可とし、対面で配布を行った。

ネットでの広報については、そうアクセス単は9月から12月で23,672件であった。

表1 郵送検査利用者の概要 (東京)

	地域	東京
	CBO	NPO法人akta
	コミュニティセンター	
	akta	
a 配布総数		387
対面配布数		387
WEB配布数		
b 受検者アンケート回答者数		559
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		314
利用率; 配布数に占める利用者数(c/a)		81.1%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		305 (97.1%)
抗体検査結果		
*重複感染 (1名)		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		4 (1.3%)
f 陽性数 (割合 f/c)		6 (1.9%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		3.7 (1.2%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		11 (3.5%)
h 陽性数 (割合 h/c)		37 (12.2%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		8.2 (2.7%)
i 追跡可能者実数; 無料ID利用者数 (割合 i/c)		260 (82.8%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		219 (69.7%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		190 (60.5%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地域が不一致な場合も含む。

一方で、神奈川地域の配布実績は下記のとおりである。

西区福祉保健活動拠点・フクシアでの配布

- 第1回:10月1日(金)
定員12名、予約9名、配布9名
- 第2回:10月3日(日)
定員22名、予約22名、配布20名
- 第3回:10月31日(日)
定員22名、予約15名、配布14名
- 第4回:11月7日(日)
定員22名、予約12名、配布8名
- 第5回:11月27日(土)
定員22名、予約8名、配布6名

SHIPにじいろキャビンでの配布

- 第1回:12月10日(水)16:00-20:00
予約なし、配布数4名

WEBでの配布

第1弾は9月18日から9月23日まで、受付数142件であった。広告は出会い系アプリとTwitterの二種類を使用した。

第2弾は12月8日から12月28日まで、受付数は10であった。広告はTwitterのみであった。

表2 郵送検査利用者の概要（神奈川）

	地域	神奈川
	CBO	NPO法人SHIP
	コミュニティセンター	-
a 配布総数		174
対面配布数		61
WEB配布数		113
b 受検者アンケート回答者数		181
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		130
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		74.7%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		128（98.5%）
抗体検査結果		*重複感染（1名）
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		1（0.8%）
f 陽性数（割合 f/c）		3（2.3%）
推定新規陽性者数（新規陽性率）*		1.2（0.9%）
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		1（0.8%）
h 陽性数（割合 h/c）		24（18.6%）
推定新規陽性者数（新規陽性率）*		7.2（5.6%）
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数（割合 i/c）		107（82.3%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		88（67.7%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		76（58.5%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

実施についての振り返りと反省点

今年度の実施から気づいたこと、よかったことは、開館時の配布では、早い時間に受け取りに来る人が多かった（開館前も含む）ことがあげられた。また予約枠と比べ、開館時の受け取りは、対象者の検査についての準備性が低かった。

修正が必要なこと、課題となったことは、予約枠は土壇場でのキャンセルが多いことが分かった。開館時は、他の作業やMTG、プログラム等との兼ね合いが難しかった。

また説明動画を倍速で見られる方もいたので、何度も見れる説明やフォローを追加する必要があった。グループでの受け取りは準備性が異なり、一緒に説明することが難しい事例があった。シフトスタッフが少ないときには、検査対応中に電話対応や来場者対応等が必要なこともあり、バランスをとることが難しいと感じた。また対象者には、説明を集中して聞いていただけなかったり、注意散漫になりながら説明

を聞く人もあり、対応が難しかった。以前のHIV check利用者では説明をスキップしようとする方もおられた。特に実家暮らしの学生等への資料提示、配布は難しい。

対象者からの質問対応では、結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIVと梅毒で結果は別々に来るか？など様々なものがあった。聴覚障がい者の方への説明が必要な場面もあり、今後検討が必要であった。

ゆうそう検査を使ってみた動画をインスタで上げたいとの声もあった。メディア対応等が事前にルール化されていると良いと思った。

また外国人が日本人と一緒に来場したときにどのように説明するかが難しかった。

D. 考察

今年度も新型コロナウイルスの影響で、保健所でのHIV検査が休止になったところもあり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあったと考えられる。

郵送検査の方法および確認検査を受ける場所への誘導について口頭で説明する必要があると考え、aktaでは対面で配布する方法をとった。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対してもその場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができた。私たち自身も受検者がどのような疑問を持っているかを知ることができた。いまだ多くの保健所の検査提供が少なくなっていることもあり、予約枠はすぐ埋まる状況であった。

今後、どのような層にこのゆうそう検査を届けるかを考え、ターゲットを絞った広報、検査提供を考える必要がある。また、東京都以外にも様々な居住地のMSMがキットを受け取りに来る可能性があり、遠方から取りに来たものについての対応も今後検討する必要がある。

E. 結論

東京地域では、HIVCheckを終えて1年以上あけての検査キットの配布を実施した。入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型に限定し不安を軽減する努力をし、昨年度に比べ4倍の387件を配布できた。

神奈川県では、総計174キットを配布した。コミュニティセンターや神奈川県内の公的な場所での対面配布61件、WEBでの配布が113件であった。昨年度に続き、貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020. DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) ○金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来院するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) ○宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) ○金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020
- 5) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. *日本感染症学会誌*, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.
- 2) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS - the

International AIDS Society - Conference on HIV Science, Virtual, 2021.

- 3) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences, Virtual, 2021.

3. 学会発表 (国内)

- 1) 金子典代:U=U をめぐる陽性者と HIV 予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 林田庸総, 柏木恵莉, 土屋亮人, 高野操, 青木孝弘, 湯永博之, 菊池嘉, 岩橋恒太, 金子典代: 乾燥ろ紙血による HIV Ag/Ab 郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 3) 荒木順, 金子典代, 木南拓也, 柴田恵, 岩橋恒太, 藤原孝大, 鈴木敦大, 小山輝道, 高久道子, 高久陽介, 市川誠一, 張由紀夫, 生島嗣: ゲイバー等との連携による「LivingTogether のど自慢」の実践とその効果について. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 井上洋士, 後藤大輔, 船石翔馬, 高橋良介, 塩野徳史, 金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 5) 高橋良介, 末盛慶, 金子典代, 石田敏彦: NLGR+への参加状況と HIV 抗体検査受検経験の関連性. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 6) 金子典代: 日本の MSM における HIV 検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大ストラテジー. 第 1 回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
- 7) 金子典代:MSM を対象とした HIV 検査促進プログラムの変遷と HIV 検査機会拡大にむけた新たな試み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021
- 8) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjams, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa: Studies

on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia.
第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021

- 9) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス。GID 学会第 23 回研究大会・総会，WEB 開催，2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表 3-1 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者概要 (東京)

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用							
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布					
配布CBO														
NPO法人akta/akta (東京)	299	30.1%	260	51.0%	0	0.0%	54	53.5%	0	0.0%	613	26.7%		
検査DATA 採取した月														
2021年9月			11	4.2%			1	1.9%			12	3.8%	<0.01	
2021年10月			97	37.3%			7	13.0%			104	33.1%		
2021年11月			79	30.4%			12	22.2%			91	29.0%		
2021年12月			46	17.7%			15	27.8%			61	19.4%		
2022年1月			27	10.4%			19	35.2%			46	14.6%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果														
初めて陽性と知った			3	1.2%			2	3.7%			5	1.6%	0.01	
陰性だった			255	98.1%			49	90.7%			304	96.8%		
判定不能			1	0.4%			3	5.6%			4	1.3%		
再罹患			1	0.4%			0	0.0%			1	0.3%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA 梅毒抗体検査結果														
既往あり			2	0.8%			0	0.0%			2	0.6%	<0.01	
初めて陽性と知った			7	2.7%			4	7.4%			11	3.5%		
陰性だった			219	84.2%			45	83.3%			264	84.1%		
判定不能			6	2.3%			5	9.3%			11	3.5%		
再罹患			26	10.0%			0	0.0%			26	8.3%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
検査DATA 結果閲覧の状況														
未読			6	2.3%			3	5.6%			9	2.9%	0.19	
既読			254	97.7%			51	94.4%			305	97.1%		
合計			260	100.0%			54	100.0%			314	100.0%		
年齢階級 (10歳区分)														
29歳以下	91	30.4%	75	28.8%			13	24.1%			179	29.2%	0.10	
30-39歳	94	31.4%	97	37.3%			19	35.2%			210	34.3%		
40-49歳	75	25.1%	65	25.0%			16	29.6%			156	25.4%		
50-59歳	30	10.0%	20	7.7%			4	7.4%			54	8.8%		
60歳以上	9	3.0%	3	1.2%			1	1.9%			13	2.1%		
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%			1	1.9%			1	0.2%		
合計	299	100.0%	260	100.0%			54	100.0%			613	100.0%		

表 3-2 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者属性（東京）

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	2	0.7%	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%	<0.01
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	6	2.0%	8	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	2.4%	
東京	187	62.5%	165	63.5%	19	65.5%	19	65.5%	19	65.5%	371	63.1%	
南関東	88	29.4%	76	29.2%	4	13.8%	4	13.8%	4	13.8%	168	28.6%	
甲信越	1	0.3%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	
北陸	2	0.7%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%	
東海	8	2.7%	4	1.5%	1	3.4%	1	3.4%	1	3.4%	13	2.2%	
近畿	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
四国	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
九州	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	
沖縄	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	4	13.8%	4	13.8%	4	13.8%	4	0.7%	
合計	299	100.0%	260	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	588	100.0%	
国籍													
日本	271	90.6%	240	92.3%							511	91.4%	0.28
アジア	22	7.4%	16	6.2%							38	6.8%	
欧米	1	0.3%	3	1.2%							4	0.7%	
その他	5	1.7%	1	0.4%							6	1.1%	
合計	299	100.0%	260	100.0%							559	100.0%	
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			112	58.9%	16	55.2%					128	58.4%	0.28
郊外住宅地			65	34.2%	9	31.0%					74	33.8%	
農村地域・漁村地域			3	1.6%	0	0.0%					3	1.4%	
山間部			2	1.1%	0	0.0%					2	0.9%	
離島			0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
無回答			8	4.2%	4	13.8%					12	5.5%	
合計			190	100.0%	29	100.0%					219	100.0%	
性別													
男性	297	99.3%	259	99.6%	53	98.1%					609	99.3%	0.03
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
トランスジェンダー	2	0.7%	1	0.4%	0	0.0%					3	0.5%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%					1	0.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%	54	100.0%					613	100.0%	
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			2	1.1%	0	0.0%					2	0.9%	0.31
いいえ			176	92.6%	25	86.2%					201	91.8%	
無回答			12	6.3%	4	13.8%					16	7.3%	
合計			190	100.0%	29	100.0%					219	100.0%	
居住形態													
独居	183	61.2%	164	63.1%							347	62.1%	0.49
同居	116	38.8%	95	36.5%							211	37.7%	
定住先はない	0	0.0%	1	0.4%							1	0.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%							559	100.0%	

表 3-3 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO 活動認知 (東京)

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	210	70.2%	221	85.0%			431	77.1%	<0.01
ない（今回が初めての検査）	89	29.8%	39	15.0%			128	22.9%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	116	38.8%	108	41.5%			224	40.1%	0.54
ない	183	61.2%	152	58.5%			335	59.9%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）									
保健所	45	15.1%	44	16.9%			89	15.9%	<0.01
病院/クリニック	45	15.1%	40	15.4%			85	15.2%	<0.01
郵送検査	30	10.0%	25	9.6%			55	9.8%	<0.01
その他	29	9.7%	23	8.8%			52	9.3%	<0.01
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）									
ゲイバー	93	31.1%	93	35.8%			186	33.3%	0.28
ゲイイベント	18	6.0%	20	7.7%			38	6.8%	0.50
ゲイショップ	27	9.0%	34	13.1%			61	10.9%	0.14
有料のハッテン場	116	38.8%	99	38.1%			215	38.5%	0.93
野外のハッテン場	26	8.7%	28	10.8%			54	9.7%	0.47
いずれもない	120	40.1%	99	38.1%			219	39.2%	0.66
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）									
Twitter	106	35.5%	85	32.7%			191	34.2%	0.53
Instagram	27	9.0%	28	10.8%			55	9.8%	0.57
VERO	29	9.7%	25	9.6%			54	9.7%	1.00
9monsters	261	87.3%	214	82.3%			475	85.0%	0.12
Men's Net Japan	55	18.4%	41	15.8%			96	17.2%	0.43
KO-MENSTV	4	1.3%	3	1.2%			7	1.3%	1.00
その他	18	6.0%	29	11.2%			47	8.4%	0.03
いずれもない	25	8.4%	25	9.6%			50	8.9%	0.66
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。									
受け取っていない	278	93.0%	243	93.5%			521	93.2%	0.96
受け取ったけど、利用していない	1	0.3%	1	0.4%			2	0.4%	
受け取って、利用した	20	6.7%	16	6.2%			36	6.4%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。									
よく知っている	39	13.0%	38	14.6%			77	13.8%	0.88
少し知っている	110	36.8%	100	38.5%			210	37.6%	
あまり知らない	114	38.1%	92	35.4%			206	36.9%	
全く知らない	36	12.0%	30	11.5%			66	11.8%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	

表3-4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①（東京）

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？									
ある	270	90.3%	243	93.5%			513	91.8%	0.22
ない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	70	23.4%	70	26.9%			140	25.0%	0.30
友達やセクフレ	173	57.9%	156	60.0%			329	58.9%	0.40
その場限りの相手	165	55.2%	140	53.8%			305	54.6%	0.29
その他	3	1.0%	2	0.8%			5	0.9%	0.38
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。									
ある	234	78.3%	197	75.8%			431	77.1%	0.09
ない	36	12.0%	46	17.7%			82	14.7%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。									
ある	117	39.1%	99	38.1%			216	38.6%	0.33
ない	153	51.2%	144	55.4%			297	53.1%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。									
ある	69	23.1%	58	22.3%			127	22.7%	0.36
ない	201	67.2%	185	71.2%			386	69.1%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。									
ある	13	4.3%	15	5.8%			28	5.0%	0.32
ない	257	86.0%	228	87.7%			485	86.8%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。									
ある	18	6.0%	9	3.5%			27	4.8%	0.13
ない	252	84.3%	234	90.0%			486	86.9%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。									
ある	6	2.0%	5	1.9%			11	2.0%	0.40
ない	264	88.3%	238	91.5%			502	89.8%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況									
非常用	207	69.2%	203	78.1%			410	73.3%	0.06
常用	63	21.1%	40	15.4%			103	18.4%	
過去6ヶ月間がない	29	9.7%	17	6.5%			46	8.2%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	

表 3-5 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況 (東京)

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」について知っていますか。									
とてもよく知っている	90	30.1%	72	27.7%			162	29.0%	0.06
具体的には知らないが、聞いた	177	59.2%	173	66.5%			350	62.6%	
まったく知らない	32	10.7%	15	5.8%			47	8.4%	
合計	299	100.0%	260	100.0%			559	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」に対する使用意図									
服薬したくない/どちらかといえば	59	20.1%	58	22.4%			117	21.2%	0.53
服薬したい/どちらかといえば	235	79.9%	201	77.6%			436	78.8%	
合計	294	100.0%	259	100.0%			553	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ) 」の使用経験									
ない	255	86.7%	230	88.8%			485	87.7%	0.52
ある	39	13.3%	29	11.2%			68	12.3%	
合計	294	100.0%	259	100.0%			553	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。(複数回答)									
梅毒	41	13.7%	31	11.9%			72	12.9%	0.61
A型肝炎	6	2.0%	2	0.8%			8	1.4%	
B型肝炎	24	8.0%	15	5.8%			39	7.0%	0.32
C型肝炎	2	0.7%	0	0.0%			2	0.4%	
クラミジア	41	13.7%	31	11.9%			72	12.9%	0.61
尖圭コンジローマ	20	6.7%	13	5.0%			33	5.9%	
淋病	27	9.0%	26	10.0%			53	9.5%	0.77
HIV感染症	5	1.7%	1	0.4%			6	1.1%	
赤痢アメーバ	4	1.3%	2	0.8%			6	1.1%	0.69
毛じらみ	89	29.8%	63	24.2%			152	27.2%	
性器ヘルペス	12	4.0%	8	3.1%			20	3.6%	0.65
その他	4	1.3%	6	2.3%			10	1.8%	
いずれもない	144	48.2%	130	50.0%			274	49.0%	0.67
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。(複数回答)									
アプリ広告で知った			133	70.0%	21	72.4%	154	70.3%	0.03
インターネットで知った			31	16.3%	2	6.9%	33	15.1%	
コミュニティセンターで知った			13	6.8%	2	6.9%	15	6.8%	0.07
ゲイバーで知った			4	2.1%	1	3.4%	5	2.3%	
友達から聞いた			19	10.0%	3	10.3%	22	10.0%	0.07
その他			4	2.1%	0	0.0%	4	1.8%	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。									
簡単だった			111	58.4%	15	51.7%	126	57.5%	0.23
どちらでもない			30	15.8%	2	6.9%	32	14.6%	
難しかった			44	23.2%	10	34.5%	54	24.7%	0.23
無回答			5	2.6%	2	6.9%	7	3.2%	
合計			190	100.0%	29	100.0%	219	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。									
回答した			179	94.2%	22	75.9%	201	91.8%	<0.01
していない			3	1.6%	3	10.3%	6	2.7%	
無回答			8	4.2%	4	13.8%	12	5.5%	
合計			190	100.0%	29	100.0%	219	100.0%	

2021年度の東京地域の状況

①コミュニティの状況

- ・政府や東京都による緊急事態宣言や、時短要請等が相次いだり、度重なる発令に、新宿二丁目の商業施設も独自のガイドラインや都の基準を守りつつ試行錯誤した営業をしていた。
- ・aktaも時短営業や、一部開館日数を制限するなどし営業した。
- ・一時期より感染者数の減少から新宿二丁目の人流も少しずつ回復してきていたが、オミクロン株による感染拡大の影響により、年明けより蔓延防止等重点措置が発令され、新宿二丁目の商業施設では、これまで以上に休店する店舗が見受けられた。（2月は1年の中で最も売上がないことや、開けていても人が来ないなどが原因とされる）
- ・二丁目での飲み習慣が止まることで、二丁目への人流回復に影響が出てきているところもあった。

②検査機会の動向

- ・保健所でのHIV検査は、緊急事態宣言および重点措置等の影響を受け、不安定な状況が2020年度から続いている。
- ・東京都は、東京都新宿厚生労働省の通達を受け、保健所が医療機関などに委託してHIV検査を再開するところ、医療機関への委託の検討・相談を開始するところが増えた。
- ・保健所でのHIV検査が再開され、MSM向けの広報協力等をaktaで行ったが、予約枠が埋まらないケースも散見された。
- ・国立国際医療研究センターSH外来のほか、クリニックでのMSMのHIV検査受検機会活用が目立つ。また、自費診療のクリニックでのMSMの受検状況についても意見交換を行っている。
- ・自己輸入によるPrEPの広報等が、ゲイ向け出会い系アプリ等で行われている状況で、HIV・性感染症の定期的な受検機会など、医療機関での見守り体制の構築が急務である。

2

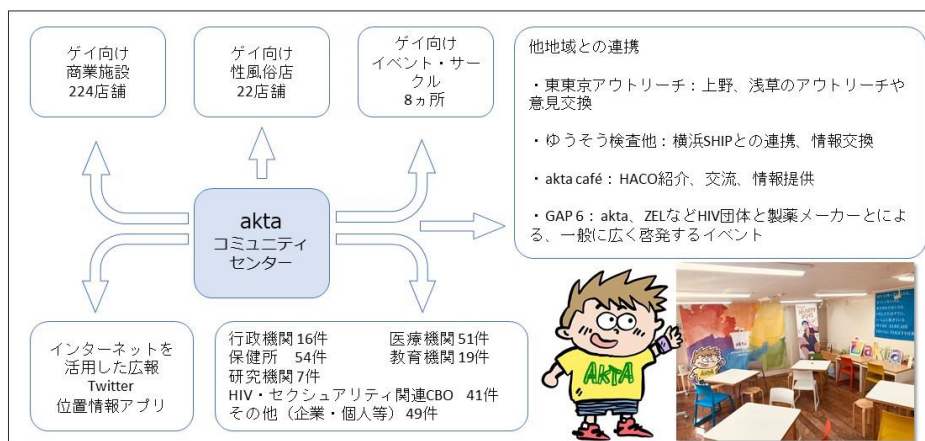
地域の商業施設数と連携

2022年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数（新宿）	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	671 (351)	223 (162)	33.2% (46.1%)	
有料ハッテン場	47 (11)	22 (9)	46.8% (81.8%)	
ゲイナイト	コロナ禍で流動的	1	-	
ウリ専	8 (8)	3 (3)	37.5% (37.5%)	
ゲイショップ	35 (9)	9 (4)	25.7% (44.4%)	
サウナ・ホテル	11 (4)	7 (4)	63.6% (100%)	
マッサージ	不明	0	0%	
ゲイ雑誌	1	0	0%	
スマホアプリ		4	-	
ウェブサイト		4	-	
ゲイサークル	不明	0	0%	
その他（ ）				

3

普及啓発活動の状況



4

コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	: 常勤 4人 非常勤 2人、ボランティア 約 130人
開館曜日	: 木曜日～日曜日の週4日（月曜日～水曜日、年末年始を定休日とする）
開館時間	: 15時 ～ 21時
総来場者数*	: 1428名（前年度比 143.37% ）
初来場者数*	: 499名（前年度比 297.02% ）
相談件数*	: 81件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談38件）

*2021年4月～2022年1月まで

政府による緊急事態宣言の発出により、5月、6月は木曜日も閉館とした。

センターにおけるプログラムの展開： *名前とカテゴリ（展覧会・講座・カフェ等）、対象年齢（若年層・中高年層・全般）
 ・akta café（カフェ・若年層）・YouTube（WEB・全般）・ゆうそう検査（検査・若年層）・専門相談会（相談・全般）・他、各種展覧会、Talk Show、見学対応、ミーティング等スペース貸し出し

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	155	67	74	113	69	114	245	331	153	107			1428
うち新規	54	10	24	26	16	38	108	143	39	41			499
相談件数	11	7	6	9	13	17	8	6	5	5			87
WEB akta.jp (ユーザー数)	6,145	14,601	5,515	5,028	5,597	7,354	12,079	10,916	3,461	3,113			73,809
WEB YouTube (視聴数)	2,365	2,786	3,606	2,759	1,936	2,113	2,445	4,266	5,054	3,783			31,113

akta cafe

プログラムの目的・必要性：
 若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また「aktaゆうそう検査(HIV・梅毒)」によるaktaの検査イメージと、コミュニティ感覚のバランスを図る。
 対象となる人や施設：主に若年層のMSMや、居場所や相談ニーズのあるMSM。
 予算：コミュニティセンター事業 その他の投入資源：募金

実施内容（資材・WEB展開）：
 2018年より年10回、community center aktaにて利益を目的としない営業範囲に留めcafe営業を開始。2021年度は7月～9月の第2・4日曜日15:00～18:00の夏季限定で実施。過去実施の中では相談ニーズや居場所を求める利用者が多かったことから、相談支援や居場所などの役割をもった他団体や、akta別プログラムとコラボレーションを行い、利用者にとっての相談や居場所の選択肢を増やすと共に、外部とのネットワークを構築する。新型コロナ対策として、オンラインでも参加できる枠を用意し、akta caféスタッフや、akta非公式キャラクター「あくたくん」と話せる機会の提供を行った。



moyamoya aktaで話そう、聞いてみよう

プログラムの目的・必要性：
セックスについて話をしても大丈夫だという空気感や場・機会を作り、予防行動や知識の向上、コミュニティ全体のリテラシー向上につなげていく。またHIVやセクシュアルヘルスについての「相談」のハードルを下げて、心の中のもやもやを話せる機会をつくる。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアルなど、男性と性行為をする男性（MSM）
予算：コミュニティセンター事業

実施内容（資材・WEB展開）：無料・予約制、相談員2名（1回に1名ずつ）
・今年は「akta café」と連動することで「相談」のハードルを下げて、コミュニケーションをとりながら、HIVやセックス、セクシュアルヘルスの話をできる機会を提供した。また「ゆうそう検査」のサポート機会とした。
・新型コロナウイルス感染症対策として、予約システムを導入し、館内での感染症対策を徹底した。



結果：
ポスター配布：デリバリーボーイズ(162件)、発送(約330件)、関係機関(5件)他
バナー広報：9monsters帯バナー(1週間)表示回数：7,056,495回 クリック数：2,099回
①8月8日(日) 相談件数：2件（事前予約：0名、当日：2名）
②9月12日(日) 相談件数：2件（事前予約：1名、当日：1名）
③10月10日(日) 相談件数：2件（事前予約：1名、当日：1名）
④11月14日(日) 相談件数：1件（事前予約：0名、当日：1名）
※①②は「akta café」とコラボ、③④は「ゆうそう検査」とコラボ
今後：プログラム全体の中で「相談」の位置づけについて検討が必要である。

akta monthly schedule

プログラムの目的・必要性：
aktaの周知と、DELIVERY BOYSの配布店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するフリーペーパー。
対象となる人や施設：新宿二丁目のゲイバー等商業施設や、そこに集うお客さん。他、MSM。
予算：コミュニティセンター事業

実施内容（資材・WEB展開）：
aktaの利用状況を記載したカレンダーと、裏面にはコンドームアウトリーチにご協力いただいている店舗より、パーママさんや、スタッフさんのインタビューを掲載。2021年度はaktaプログラム関係者のインタビューや、トピック情報も追加され、広くaktaを知る機会の提供とした。また、紙面版では載せきれなかった内容を、ウェブ版にて公開。写真も加わり、より内容を深く掘り下げられます。



発行部数：2021年4月号～2022年1月号まで各号5,000部 発行、配布
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/162店舗、その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗、保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/93施設、HIV関連NGO/20施設 その他/73施設



デリバリーボーイズ



2021年度

プログラムの目的・必要性：
セーフアセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。
対象となる人や施設：新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員。また、参加するボランティアスタッフも対象となる。 **予算：**コミュニティセンター事業

実施内容（アウトリーチ/ オンライン交流会）：
毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブにコンドームをはじめとした性の健康に関する様々なアイデアを配布(アウトリーチ)する活動です。
※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、マスクの着用・実施前の検温・消毒(活動中も適宜消毒)を行い、感染症対策を施し実施した。緊急事態宣言期間中など、直接のアウトリーチができない際のアウトリーチ方法として、ポスティングやLINE公式アカウントの開設等を行った。

実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時
登録者数：132名(内毎回5～10名前後のスタッフが参加)
配布店舗数：162店舗
コンドーム配布数：年間4,842個 1回約500～1000個配布。
稼働日数：22日※ポスティング7回を含む。



10

新プロジェクト HAVE A NICE SEX ファクトシート

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではなく性感染症の情報、HIVの常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立てる内容とする。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアリティなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：コミュニティセンター事業

実施内容 (資材)：
 今年度は「①HIV/梅毒の動向」「②B型肝炎」「③PrEP」の3つのテーマで作成。
 主に、東京都委託事業によるトークショーテーマと併せる形で、内容を編集。
 専門家の医療監修を受け、コミュニティ、特に若い層に需要のあるイラストを使用し、キャッチーさを演出。



※画像はラフ段階のイメージです。

発行部数：A5折、各種5,000部を予定。
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/162店舗、その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗、保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/93施設、HIV関連NGO/20施設、その他/73施設を予定。

11

akta YouTube チャンネル

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信する。
対象となる人や施設：YouTubeを見るゲイ・バイセクシュアリティなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：コミュニティセンター事業/東京都委託事業/NPO法人akta

実施内容 (WEB展開)：
 いくつかのコンテンツに分け、月に2本動画を制作。今年度は、バーママさんたちのチャンネルとコラボをし、新たな新規視聴層の獲得と情報発信に心がけた。

<p>akta大学 大学の講義形式で、トピックについてポイント解説を行う。</p>		<p>3分×3分 aktaスタッフが、視聴者の疑問に3分以内に回答するコーナー。</p>		<p>資材紹介 aktaが作成している資材等について、紹介するコーナー。</p>
--	--	---	--	---

視聴回数：49,197回 (1月末日時点)
登録者数：606人(前年度より273人増)
参考：
 2020年4月～2021年1月→視聴回数 9,199回(前年度の3.2倍増)
 2021年4月～2022年1月→視聴回数 29,000回

<p>コラボ企画!!</p>	<p>NEW! コラボ企画 人気のゲイバーのママさん4人で構成されるYouTubeチャンネルとコラボ! この動画をキッカケに登録者数がグンと伸びた!</p>
-----------------------	--

12

Living Together LIVING TOGETHER

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 HIVを自分の事として身近に捉える機会を提供すると共に、陽性者の声を可視化しながら、スティグマを低減させる。また、自分の行動を振り返り、予防行動・検査行動へとつなげる。
対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアルなど男性と性行為をする男性 (MSM)
予算：東京都委託事業

実施内容 (WEB展開)：
 ゲストがHIV陽性者や、その周囲の人の手記を朗読し、感想を話す。
 今年度は「オンラインリーディング」として、動画に収録したものを、編集し、オンライン上で広く配信した。
 他にも「オンライン配信ライブショー」として、手記の朗読と感想に加え、LIVEパフォーマンスを生配信し、その後アーカイブとして配信。

<p>第5回ゲスト： かつまきさん (スナック九州男ママ)</p>	<p>第6回ゲスト： 保野悠樹さん (第35回日本エイズ学会学術集会・総会 学会長/国立感染症研究所エイズ研究センター長)</p>
<p>第7回ゲスト： ドリファン・コロプリダさん (ドラァククイーン) ※TOKYO AIDS WEEKS 2021参加</p>	<p>ゲスト：Hugestさん (DJ) / レイチェル・ダムールさん (ドラァククイーン) LIVE：つつまき</p>

総視聴回数：オンラインリーディング1,675回 (1月末日時点)
 LIVEショー当日80回/アーカイブ1,778回

13

行政連携（検査機会の提供）

2021年度

プログラムの目的・必要性：
 ゲイ・バイセクシュアル男性があんしんして検査を受けられる環境を整備して、セクシュアリティに配慮した検査普及を行い、HIV感染の早期発見をし、エイズ発症により感染を知るケースを減少させる。
 対象となる人や施設：ゲイ・バイセクシュアリティなど男性性と性行為をする男性（MSM）
 予算：東京都/新宿区/港区/千葉県

連携内容（資料/WEB展開）：
 ゲイに人気のアプリやネット媒体(9monsters、MENS NET JAPAN)にて、バナー広告を展開。セクシュアリティや地域性を考慮したイラスト、デザインでのバナー広告を展開した。他、HIV検査の受検者へ配布する啓発資料の作成。

結果：



14

ゆうそう検査の取り組み



2021年度

主に対象となる人や施設：
 18歳以上（2021年4月時点で高校を卒業している）で、日本語での説明を読み、同意する事ができ、事前にアンケートに回答している、男性とセックスをする男性（MSM）
 配布方法：月曜日（予約制/対面）・木曜日～日曜日（予約なし/対面）
 研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費

工夫した内容（資料・WEB展開）：

- ・説明を動画にまとめ、事前に確認してもらう事でのスムーズな受け渡し。
- ・医療機関のつなぎ等、重要な部分はスタッフから口頭で説明。
- ・月曜日を予約制とし、受験者同士の接触の機会を減らした。
- ・確認検査受入機関として、行政の他、東京都内15の医療施設と連携。



結果：
 実施日時 2021年9月25日(土)～2021年12月3日(金) 49日間
 検査キット配布数 387件（月曜日予約件数121件/受取数103件）
 アクセス数 PV数 23,672件(2021年9月～12月)
 実施した反応

- ・グループでの受け取りは準備性がバラバラ。一緒だと説明が難しい。
- ・質問では、結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIVと梅毒で結果は別々に来るか？など
- ・ろう者の方への説明。
- ・グループで外国人×日本人の組み合わせの場合の説明、結果受け取りの意味の伝え方。



15

+

次年度の取り組みについて


コミュニティセンターの機能再検討・来場者を集める

上野・浅草プロジェクト（東京アウトリーチ）
 go to 2丁目プロジェクト→ヤローページ(新宿版)

aktaゆうそう検査・ディスペンサープロジェクト
 クリニック検査等。保健所検査の再開支援。

PrEPやU=Uなど、予防に関連する新しい情報
 → コンビネーション予防の情報提供・広報・リテラシー向上

若い人たちに関わってもらう施策(スタッフ・利用者集客・認知向上)



16

表 4-1 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者概要 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
NPO法人SHIP (神奈川県)	74	7.5%	49	9.6%	58	14.0%	0	0.0%	23	8.2%	204	8.9%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			0	0.0%	39	67.2%			11	47.8%	50	38.5%	<0.01
2021年10月			26	53.1%	12	20.7%			2	8.7%	40	30.8%	
2021年11月			14	28.6%	2	3.4%			3	13.0%	19	14.6%	
2021年12月			6	12.2%	4	6.9%			1	4.3%	11	8.5%	
2022年1月			3	6.1%	1	1.7%			6	26.1%	10	7.7%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%	1	1.7%			2	8.7%	3	2.3%	0.13
陰性だった			48	98.0%	57	98.3%			21	91.3%	126	96.9%	
判定不能			1	2.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.8%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.09
初めて陽性と知った			2	4.1%	4	6.9%			5	21.7%	11	8.5%	
陰性だった			41	83.7%	46	79.3%			18	78.3%	105	80.8%	
判定不能			1	2.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.8%	
再罹患			5	10.2%	8	13.8%			0	0.0%	13	10.0%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			0	0.0%	0	0.0%			2	8.7%	2	1.5%	<0.01
既読			49	100.0%	58	100.0%			21	91.3%	128	98.5%	
合計			49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	130	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	33	44.6%	13	26.5%	19	32.8%			6	26.1%	71	34.8%	0.23
30-39歳	24	32.4%	26	53.1%	24	41.4%			13	56.5%	87	42.6%	
40-49歳	14	18.9%	7	14.3%	10	17.2%			2	8.7%	33	16.2%	
50-59歳	2	2.7%	2	4.1%	3	5.2%			1	4.3%	8	3.9%	
60歳以上	1	1.4%	1	2.0%	2	3.4%			0	0.0%	4	2.0%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			1	4.3%	1	0.5%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			23	100.0%	204	100.0%	

表 4-2 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者属性 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.01
東北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北関東	4	5.4%	1	2.0%	3	5.2%	1	8.3%	9	4.7%	9	4.7%	
東京	30	40.5%	10	20.4%	19	32.8%	5	41.7%	64	33.2%	64	33.2%	
南関東	33	44.6%	37	75.5%	29	50.0%	4	33.3%	103	53.4%	103	53.4%	
甲信越	4	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.1%	4	2.1%	
北陸	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%	
東海	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	3	1.6%	3	1.6%	
近畿	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%	1	8.3%	4	2.1%	4	2.1%	
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	3	5.2%	0	0.0%	3	1.6%	3	1.6%	
沖縄	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	2	1.0%	2	1.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	12	100.0%	193	100.0%	193	100.0%	
国籍													
日本	71	95.9%	48	98.0%	55	94.8%			174	96.1%	174	96.1%	0.70
アジア	3	4.1%	1	2.0%	3	5.2%			7	3.9%	7	3.9%	
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	181	100.0%	
【事後アンケート】 あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			13	36.1%	15	37.5%	7	58.3%	35	39.8%	35	39.8%	0.58
郊外住宅地			19	52.8%	22	55.0%	5	41.7%	46	52.3%	46	52.3%	
農村地域・漁村地域			0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答			4	11.1%	2	5.0%	0	0.0%	6	6.8%	6	6.8%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	88	100.0%	
性別													
男性	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	22	95.7%	203	99.5%	203	99.5%	0.05
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	1	0.5%	1	0.5%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	23	100.0%	204	100.0%	204	100.0%	
【事後アンケート】 あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.19
いいえ			30	83.3%	37	92.5%	12	100.0%	79	89.8%	79	89.8%	
無回答			6	16.7%	3	7.5%	0	0.0%	9	10.2%	9	10.2%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	88	100.0%	
居住形態													
独居	49	66.2%	33	67.3%	37	63.8%			119	65.7%	119	65.7%	0.92
同居	25	33.8%	16	32.7%	21	36.2%			62	34.3%	62	34.3%	
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	181	100.0%	

表4-3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用		合計		
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布			
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	50	67.6%	38	77.6%	46	79.3%			134	74.0%	0.25
ない（今回が初めての検査）	24	32.4%	11	22.4%	12	20.7%			47	26.0%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	30	40.5%	20	40.8%	19	32.8%			69	38.1%	0.59
ない	44	59.5%	29	59.2%	39	67.2%			112	61.9%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）											
保健所	8	10.8%	6	12.2%	8	13.8%			22	12.2%	0.29
病院/クリニック	12	16.2%	6	12.2%	5	8.6%			23	12.7%	0.30
郵送検査	10	13.5%	9	18.4%	8	13.8%			27	14.9%	0.32
その他	8	10.8%	3	6.1%	6	10.3%			17	9.4%	0.26
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）											
ゲイバー	18	24.3%	9	18.4%	5	8.6%			32	17.7%	0.06
ゲイイベント	3	4.1%	0	0.0%	0	0.0%			3	1.7%	0.11
ゲイショップ	2	2.7%	2	4.1%	2	3.4%			6	3.3%	0.91
有料のハッテン場	22	29.7%	22	44.9%	12	20.7%			56	30.9%	0.03
野外のハッテン場	12	16.2%	3	6.1%	2	3.4%			17	9.4%	0.03
いずれもない	37	50.0%	19	38.8%	41	70.7%			97	53.6%	<0.01
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）											
Twitter	30	40.5%	19	38.8%	21	36.2%			70	38.7%	0.88
Instagram	5	6.8%	5	10.2%	8	13.8%			18	9.9%	0.41
VERO	10	13.5%	7	14.3%	5	8.6%			22	12.2%	0.60
9monsters	68	91.9%	44	89.8%	51	87.9%			163	90.1%	0.75
Men's Net Japan	15	20.3%	5	10.2%	12	20.7%			32	17.7%	0.27
KO-MENSTV	1	1.4%	0	0.0%	2	3.4%			3	1.7%	0.37
その他	6	8.1%	0	0.0%	2	3.4%			8	4.4%	0.09
いずれもない	2	2.7%	5	10.2%	3	5.2%			10	5.5%	0.20
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。											
受け取っていない	69	93.2%	40	81.6%	50	86.2%			159	87.8%	0.14
受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
受け取って、利用した	5	6.8%	9	18.4%	8	13.8%			22	12.2%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。											
よく知っている	10	13.5%	4	8.2%	4	6.9%			18	9.9%	0.29
少し知っている	22	29.7%	15	30.6%	18	31.0%			55	30.4%	
あまり知らない	23	31.1%	24	49.0%	26	44.8%			73	40.3%	
全く知らない	19	25.7%	6	12.2%	10	17.2%			35	19.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%			181	100.0%	

表4-4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①(神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	66	89.2%	47	95.9%	53	91.4%					166	91.7%	0.41
ない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？(複数回答)													
彼氏や恋人	10	13.5%	6	12.2%	5	8.6%					21	11.6%	0.62
友達やセクフレ	44	59.5%	30	61.2%	33	56.9%					107	59.1%	0.73
その場限りの相手	42	56.8%	28	57.1%	36	62.1%					106	58.6%	0.64
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。													
ある	61	82.4%	39	79.6%	47	81.0%					147	81.2%	0.38
ない	5	6.8%	8	16.3%	6	10.3%					19	10.5%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。													
ある	18	24.3%	19	38.8%	11	19.0%					48	26.5%	0.15
ない	48	64.9%	28	57.1%	42	72.4%					118	65.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、複数人(3人以上)で同時にセックスをしたことがありますか。													
ある	12	16.2%	12	24.5%	12	20.7%					36	19.9%	0.61
ない	54	73.0%	35	71.4%	41	70.7%					130	71.8%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。													
ある	3	4.1%	3	6.1%	3	5.2%					9	5.0%	0.74
ない	63	85.1%	44	89.8%	50	86.2%					157	86.7%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。													
ある	3	4.1%	3	6.1%	2	3.4%					8	4.4%	0.71
ない	63	85.1%	44	89.8%	51	87.9%					158	87.3%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。													
ある	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%					1	0.6%	0.42
ない	66	89.2%	47	95.9%	52	89.7%					165	91.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況													
非常用	50	67.6%	32	65.3%	42	72.4%					124	68.5%	0.47
常用	16	21.6%	15	30.6%	11	19.0%					42	23.2%	
過去6ヶ月間 にない	8	10.8%	2	4.1%	5	8.6%					15	8.3%	
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%					181	100.0%	

表 4-5 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況 (神奈川県)

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用			ID不使用				合計	
	回答のみ		対面配布	WEB配布		対面配布	WEB配布				
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ)」について知っていますか。											
とてもよく知っている	19	25.7%	10	20.4%	10	17.2%		39	21.5%	0.81	
具体的には知らないが、聞いた	50	67.6%	36	73.5%	43	74.1%		129	71.3%		
まったく知らない	5	6.8%	3	6.1%	5	8.6%		13	7.2%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ)」に対する使用意図											
服薬したくない/どちらかといえば	20	27.0%	10	20.4%	14	24.1%		44	24.3%	0.70	
服薬したい/どちらかといえば	54	73.0%	39	79.6%	44	75.9%		137	75.7%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP,プレップ)」の使用経験											
ない	69	93.2%	42	85.7%	53	91.4%		164	90.6%	0.36	
ある	5	6.8%	7	14.3%	5	8.6%		17	9.4%		
合計	74	100.0%	49	100.0%	58	100.0%		181	100.0%		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。(複数回答)											
梅毒	9	12.2%	6	12.2%	8	13.8%		23	12.7%	0.96	
A型肝炎	0	0.0%	2	4.1%	2	3.4%		4	2.2%	0.24	
B型肝炎	2	2.7%	3	6.1%	4	6.9%		9	5.0%	0.50	
C型肝炎	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%		1	0.6%	0.48	
クラミジア	9	12.2%	6	12.2%	9	15.5%		24	13.3%	0.83	
尖圭コンジローマ	5	6.8%	5	10.2%	4	6.9%		14	7.7%	0.75	
淋病	4	5.4%	2	4.1%	4	6.9%		10	5.5%	0.82	
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%		
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%		
毛じらみ	17	23.0%	14	28.6%	19	32.8%		50	27.6%	0.45	
性器ヘルペス	2	2.7%	0	0.0%	1	1.7%		3	1.7%	0.52	
その他	2	2.7%	0	0.0%	1	1.7%		3	1.7%	0.52	
いずれもない	40	54.1%	26	53.1%	28	48.3%		94	51.9%	0.79	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。(複数回答)											
アプリ広告で知った			26	72.2%	31	77.5%	8	66.7%	65	73.9%	0.47
インターネットで知った			4	11.1%	5	12.5%	3	25.0%	12	13.6%	0.49
コミュニティセンターで知った			1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0.45
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	1	0	0	0.0%	
友達から聞いた			2	5.6%	1	2.5%	0	0.0%	3	3.4%	0.51
その他			0	0.0%	1	2.5%	1	8.3%	2	2.3%	0.31
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。											
簡単だった			22	61.1%	24	60.0%	8	66.7%	54	61.4%	0.93
どちらでもない			4	11.1%	7	17.5%	1	8.3%	12	13.6%	
難しかった			8	22.2%	7	17.5%	3	25.0%	18	20.5%	
無回答			2	5.6%	2	5.0%	0	0.0%	4	4.5%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。											
回答した			32	88.9%	38	95.0%	11	91.7%	81	92.0%	0.62
していない			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答			4	11.1%	2	5.0%	1	8.3%	7	8.0%	
合計			36	100.0%	40	100.0%	12	100.0%	88	100.0%	

資料2 MSM ALL JAPAN. ミーティングおよび班会議資料 (神奈川)

ゆうそう検査横浜 2021 報告 (特定非営利活動法人SHIP 星野慎二)

(1) 対面による配布

月日	曜日	時間	会場	広報	スタッフ数	予約	定員	事前予約	配布数
10月1日	金	17:30~20:30	福祉保健活動拠点 フクシア	Twitter+9モンパ ナー広告	3	事前予約 制	12	9	9
10月3日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	22	20
10月31日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	15	14
11月7日	日	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	12	8
11月27日	土	13:00~16:00	同上	同上	3	同上	22	8	6
12月10日	水	16:00~20:00	SHIPにじいろキャ ビン	Twitterのみ	1	予約なし	---	---	4
計							100	66	61

(2) 郵送による配布

月日	受付数	広報
9月18日~9月23日まで	142	9monsterバナー広告、Twitter
12月8日~12月28日まで	10	Twitter
合計	152	

9monsters バナー広告 掲載

期間	種別	バナー画像
9月20日~2週間	地域限定 (関東)	
10月20日~2週間	地域限定 (関東)	
11月21日~1週間	地域限定 (関東)	

HIV性感染症即日検査 (今村班) (1月まで)

MSM限定のHIV即日検査を毎月1回実施

(1) 月別受検者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	15	15	15	15	中止	中止	15	15	15	15			120
相談件数	12	14	14	15			12	14	14	14			109

(2) 検査結果

	受検者数	リピーター	HIV	梅毒 (TP抗体)	B型肝炎 (HBs抗原)
人数	109	73	0	12	0
(%)		(67%)	(0%)	(11.01%)	(0%)

コミュニティ支援部門 (1月まで)

LGBTコミュニティの居場所づくり

(1) コミュニティスペース「SHIPにじいろキャビン」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日 (回)	17	16	16	17	12	13	17	11	16	11			146
利用者数 (人数)	33	20	29	26	9	12	38	23	24	14			228

(2) 交流会 (セクシュアリティ・年齢別)

	1月	4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数 (回)	4	6	5	6	5	1	6	5	5	4			43
参加者数 (人数)	14	24	9	25	21	2	23	19	29	14			166

健康支援部門 (1月まで)

LGBTコミュニティ向けの相談

(1) 臨床心理士による対面相談「SHIPカウンセリング」(有料)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3			57
相談件数	12	8	9	7	5	5	9	10	8	9			82

(2) 電話相談「SHIPほっとライン」(無料)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4			43
相談件数 (人数)	23	20	15	25	18	26	21	18	24	21			211

啓発部門

(1) 講演・研修 (2021年4月～2022年1月まで)

対象者	回数
行政職員向け	15
福祉関係	4
保健師向け	1
教職員	35
児童・生徒向け	13
学生向け	11
PTA向け	0
一般市民	1
NPO職員向け	3
合計	83